

# 事務事業評価シート

H28(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	消防本部
	09039-1	車両整備費	室名	消防総務室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	05:防災力の強化	務	款 消防費
基本施策	05:防災力の強化	科	項 消防費	
戦略プロジェクト		目	目 消防施設費	

② 目的・概要	対象	市民
	目的	常備・非常備に配備している消防車両(消防自動車、救急自動車等)を計画的に更新し、消防力の充実強化を図ることを目的とする。
概要	各車両の経過年数及び運用状況を勘案した計画に基づき更新する。	

			27年度	28年度
①	名称	各年度更新等計画車両台数	計画値	
	補足		実績値	4
②	名称	各年度更新等完了車両台数	計画値	
	補足		実績値	4
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					・非常備 第6分団白木車庫 小型動力ポンプ付普通積載車 更新 ・非常備 第11分団坂下車庫 小型動力ポンプ付普通積載車 更新 (常備消防車両については、更新なし)			
	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	1,465	平均給与額×③	
	国庫支出金				一般職員人件費 ②	1,465		
	県支出金				所要人員 ③	0.20		
	地方債		15,800	15,800	臨時職員人件費 ④			
	その他				受益者負担額 ⑤			
	一般財源		76	76	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
		総人件費		①	1,465			
	総コスト		⑥	17,341				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	非常備消防車両については、小型動力ポンプ付普通積載車2台を更新することにより、それぞれの分団の災害出動時の迅速、的確性が増し消防力の充実強化が図れた。	総合判定
			A

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	非常備車両は配備台数が36台と多く、計画的な更新が必要である一方、亀山消防署北東分署の開署を踏まえ、車両の適正な配置について、検討する必要がある。
	【改善の方向性】	現在の市の実情に応じた車両の更新計画について、引き続き検討を進める。なお、非常備消防車両に関しては、更新計画のみならず適正な配置につき、消防団の再編に含めて検討を進める。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 消防総務室長 豊田 達也
--------------	---------	-----------------------